

# 宗岡二中だより 9月号



令和2年9月1日(火)

自ら学び考える生徒  
学校教育目標：心豊かな優しい生徒  
明るく元気な生徒

## COVID-19 への姿勢

校長 滝沢 慎

台風や大雨、暑さ等の気候や社会環境等、さまざまなものが変わってきています。これまで予想していなかった出来事があり、生活が一変することが、いつ起こっても不思議ではないと思います。

COVID-19 等の感染症も、その一つです。私が、教職に就いてから、2002年のSARS、2009年の新型インフルエンザと、新たな感染症の対応をしました。

考え方として変わらないのは、もし感染者となっても、その人は責められるべきではないということです。過日の報道で、ある大学の運動部員が感染者となり、監督に「すみません、感染者になりました。」と泣きながら電話をしてきたとき、監督は、「君は、何も悪くない。」と応えたというものがありません。学生とすれば、部の活動が停止になるなど、申し訳ない気持ちがあったのでしょうか。しかし、感染したことの非はありません。

どんなに気を付けていても、感染リスクをゼロにすることは、極めて難しいと思います。県内でも、多数の児童生徒が、感染者となり、休校等の措置が取られてもいます。家族の仕事、学校行事や部活動に影響が出るかもしれません。しかしながら、感染者となってしまったことは、悪いことではありません。

もし、身近な人が感染者となった場合、その人を決して責めないでください。また、自分が感染した場合、自分自身を責めないでください。悪い人は誰もいません。

必要なのは、自分や周りが未来へ向かうために、それぞれが適切な行動を取ることです。こんな時だからこそ、人権を尊重し、お互いを思いやることが大切です。

さて、今回、COVID-19の現状を踏まえ、3年生の修学旅行を中止としました。理由として、感染拡大後の現地踏査(下見)ができなかったこと、疾病等の現地の医療受け入れが不確定な事等があります。3年生にとっては、二度とない行事であり、残念な思いが大きいと思います。しかしながら、自分の命を守り、他の命を救うために、苦渋の判断をいたしました。御理解をお願いいたします。

9月に入っても、残暑が続くことが予想されます。学校では、COVID-19に併せて熱中症の対策に重点を充てています。ジャージや体操着での登校を当面、継続します。登下校時や運動時のキャップ、首を冷やすクールスカーフの着用を推奨しています。登下校時のマスクですが、適切な距離が保てる場合には、着用しないこともあります。

また、新たな対策として、当面の間、塩分タブレットの配布をし、全生徒用にフェイスマスクを準備しました。PTAからの御支援として、冷凍庫を2台配置しました。ありがとうございました。

体育祭に向けての活動が始まります。COVID-19対策、熱中症対策をしながら、生徒の学びを止めないよう活動をしてまいります。

MS-V あいさつ、学習、思いやり、奉仕、鍛錬